

2008年度外国語スピーチコンテスト

12月20日に町田キャンパス第3会議室にて、外国語スピーチコンテストが開催されました。

第1部英語暗唱大会では、高鳥富美子さん(日本文化学科3年)と平賀雪江さん(日本文化学科3年)がマザーグースを暗唱し、リズムや韻律の丁寧な表現が高く評価され、ともに一位となりました。第2部の日本語弁論大会では、鄭蔚さん(中国出身、文化情報学科1年)が「日本で暮らして考えたこと」というタイトルで「日本での生活は忙しいが、刺激と生きがいにあふれているので人生が輝いている」という内容を、またシュレスタ・スニタさん(ネパール出身、人間福祉学科2年)が「日本で出会った大切な人」というタイトルで「小学校時代の日本訪問時に知り合ったホストファミリーとの今でも続く温かい心の絆」について発表し、ともに一位となりました。

発表後には、授賞式とクリスマスパーティが開催され、それぞれの国の話やゲームで楽しい一時を過ごしました。



▲左より高鳥さん、平賀さん、鄭さん、シュレスタさん

2008年度中国人留学生による中国語教室

地域住民の方を対象とした「中国人留学生による中国語教室」が、4月30日から12月10日の間に18回開催されました。

講師を担当した3名の学生、李慧瓏さん(大学院2年)、邵美雪さん(日本文化学科3年)、金真三さん(日本文化学科3年)は、最初は慣れない発音に苦労されていた受講者の皆さんが、熱心に通われるうちに段々と力をつけ最後には簡単な会話ができるようになったことに感激し、大変刺激を受けたようです。

最終日には修了パーティが開催され、最後まで勉強を続けた9名(開始時12名)に修了証が手渡され、講師陣が作った中国餃子を囲み楽しく過ごしました。

受講者アンケートには、「毎週の教室が楽しみでした。修了が残念」「この講座を受けて、中国人も日本人も人類、みな兄弟という感じがし、留学生に親しみを持った」「学ぶことの楽しさ、緊張感、すばらしいですね」等の声が寄せられています。



▲修了パーティにて。前列右から2人目が邵さん、後列左から2人目が李さん、4人目が金さん

国際交流会地域サポーター制度開始

2008年度12月に国際交流会地域サポーター制度が発足しました。地域住民の方に、本学の活動に参加および協力して頂くことで、地域に根ざした国際交流を展開していくことを目的としています。当面は中国人留学生による中国語教室修了者の方を対象に募集を行います。初年度である今回は9名の方が登録されました。地域サポーターの皆さんには、センター通信、イベントや行事のお知らせをお送りします。

茶話会「モンゴルの暮らしと人々」

1月21日に夏の国際交流月で交流したモンゲンニ統合学校(モンゴル・ウランバートル)の古宇田亜由美先生をお迎えし、茶話会「モンゴルの暮らしと人々」を開催しました。沢山の写真を使ってモンゴルの文化、習慣、学校の様子が紹介され、挨拶などの簡単なモンゴル語講座も設けられました。今回の茶話会には、地域サポーターの皆さんも参加しています。



▲写真を説明する古宇田先生

芸術文化鑑賞会開催!

9月28日に2008年度留学生のための芸術文化鑑賞会が行われました。まず武蔵小金井市の三光院で精進料理を体験し、その後江戸東京たてもの園で歴史的建築物を見学しました。日本文化の根底に流れる「自然とともに生きる」という考え方や、西洋文化の日本への影響について理解を深めた1日となりました。



▲江戸東京たてもの園にて



国際交流センター構成員よりメッセージ

◆国際交流センター員

小野真理子 人間生活学研究科生活文化専攻

大学には、世界各国から、日本全国からさまざまな人が集まります。大学は、多様性が生きる場です。多様な人と出会い、異なった考え方と出会い、あなたの可能性をひろげましょう。

横山弥生(センター長) 家政学部現代家政学科

視野を広げ自分の中にたくさんの引き出しを持ちましょう。国際交流センターはその原動力となる"出会い"を応援します。センターの活動への参加を通して新たな異文化との出会いを体験して下さい。

花田朋美 家政学部現代家政学科

"こんな時、お国ではどうするの?"と身近なところからおしゃべりしてみてください。思わず"へえ~!!"と言ってしまふような驚きと新しい発見があるはずですよ。

海野知紀 家政学部健康栄養学科

人との出会いが人生を豊かにします。様々な文化を持つ人との交流を通して、新たな発見をしていきましょう。

新開よしみ 家政学部児童学科

今年もさまざまな企画・イベントを通して、留学生・日本人学生・地域の方々・教職員の交流の機会をつくっていききたいと思えます。ご参加・ご協力よろしくお願ひいたします。

細瀧昌美 家政学部住居学科

本学には、生まれた国も場所も異なる学生が多くいます。家政学院での出会いは、かけがえのない出会いです。お互いに声を掛け合って積極的に交流しましょう。

森 朋子(副センター長) 人文学部日本文化学科

グローバル化が進んだ現代では、「国際交流」は学校や地域や職場で日常のことになりつつあります。「仲良くなった人がたまたま外国人だった」というような素敵な出会いがあることを願っています。

大和田寛 人文学部工芸文化学科

国際交流センターでは、語学学習支援プログラム、芸術文化鑑賞会、バザー、外国語スピーチコンテスト等への皆さんのご参加をお待ちしております。

中町美佐子 人文学部人間福祉学科

何十億もの人のなかから出会えた新入生へ「始めまして」。そして、在校生へは「また、よろしく」と。人間のあずかり知らない大きな力によって、出会えたのですから。

畝部典子 人文学部文化情報学科

今まで知らなかった新しい世界を知る喜びは、人間にだけ与えられた特権です。異文化との交流、外国語の習得などには好奇心を持って臨みましょう。

鈴木元久 短期大学

国籍や文化を超え、いろいろな国の人と交じり合えることを嬉しく思います。一層心が通え合えることを願っています。

◆事務局・学生課

田中仁 学生課長

他の国の人を理解することは、自分を知ることになります。そのためにも、触れ合うことが大切です。国際交流のチャンスをお待ちください。

◆国際交流センター室

神小柴みき

生まれ育った国や地域が違う人と友達になってください。小さな出会いから新しい世界が広がります。東京家政学院大学には、そんなチャンスがあります。

奈良安希子

異文化交流は皆さんの学生生活をより充実させてくれます。センターでは沢山のイベントが企画されるので、興味のある方は是非声をかけてください。

国際交流会 横浜中華街へ

1月25日に国際交流会メンバーの5人(日本人3人、中国人2人)で、横浜中華街に行って来ました。この日は旧暦の大晦日に当たるため、中華街全体が華やいています。

まずは美味しいものを食べながら中華街を散策した後、カラオケへ。留学生が中国語と韓国語、そして日本語の歌を披露してくれました。私達日本人も、日本語と中国語の歌を歌いました。夜は中華料理を食べましたが、この時期は春節(中国の正月)のメニューになっている店が多く、留学生にいろいろと料理について教えてもらいました。

お店の人は皆明るく元気で、「お正月だからおまけするよ!」と言ってくれます。春節の中華街は楽しくてお得だと思うので、皆さんも機会があれば是非行ってみたいですね。

(国際交流会書記 齊田恵)



▲夕食後、ネオンがきれいな中華街で

お知らせ

◆国際交流センター・バザー"100円市"

今年も開催します。「えっ!これがたったの100円!」という品があふれています。是非お立ち寄り下さい。

場所: 国際交流プラザ

日時: 4月6日(月)・7日(火) 10:40~16:30

収益の半分は国際交流会の活動費に充て、半分はユニセフ等に寄付します。

◆英語サロン開催!

今年も英語サロンが開かれます。マーク・ルイス先生と楽しく英語でおしゃべりしませんか。申し込み不要です。英語力も問いません。お気軽にご参加下さい。

月日: 4月17日・24日・5月8日・15日・22日

6月5日・12日・19日・26日(全9回)

時間: 12:20~12:50

場所: ミーティング・ルーム(0427)

各募集のお知らせ

◆言語チューター(教える人/習う人)

中国語、韓国語、日本語を学生同士1対1で勉強する制度です。日本語の場合のみ、習う人は「学部1年生または2年生の留学生」に限られますが、他の言語は全学生が対象です。教える人の条件は以下の通りです。

中国語: 中国語を母語とする学生

韓国語: 韓国語を母語とする学生

日本語: 日本語を母語とする日本語教員養成コース履修生
国語科教員免許課程履修生、日本語ゼミ生

◆日本語会話パートナー

日本語を母語とする学生と留学生が自由楽しく交流するための出会いを提供する制度です。応募条件はありません。

◆アメリカの大学生とのメール交換

Florida International University(フロリダ国際大学)で日本語を学ぶ学生と「メル友」になる制度です。応募条件はありません。

◆国際交流会

国際交流会は、国際交流のイベントや行事の企画・運営をする学生の会です。2008年度には、夏の国際交流月の交流校へ手紙や日本の紹介の送付、KVA祭への出店などを行いました。

各募集の申し込みは、所定用紙で4月20日まで国際交流センター室へ。

◆科目チューター

学部1年および2年に在籍する留学生のための制度です。科目を履修する上で困難が生じた際に、同じ科目を履修している(または履修したことがある)学生を科目チューターとして、一緒に勉強することができます。科目チューターのサポートが必要になった場合いつでも、所定用紙で国際交流センター室に申し込んで下さい。